

第1回学校運営協議会議事録

校名	大阪府立住之江支援学校
校長名	三宅 康寛

開催日時	令和 8年 7月 8日(水)10:30~12:00
開催場所	大阪府立住之江支援学校 図書室
出席者(委員)	今枝委員 西邨委員 相澤委員 芦田委員 稲村委員 西埜委員
出席者(学校)	三宅校長 白石教頭 岡本教頭 島山首席 藤井首席 油田首席
傍聴者	0名
協議資料	令和8年度学校経営計画、令和7年度卒業生進路状況、令和8年度教科書採択資料

議題等(次第順)

1. 令和8年度住之江支援学校運営協議会委員紹介
2. 学校長挨拶
3. 会長挨拶
4. 令和8年度学校経営計画及び学校評価について、令和7年度卒業生進路状況について、令和8年度教科書採択について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

○令和7年度学校経営計画及び学校評価の確認(承認)

1. 安全安心を保障できる体制の構築
2. 確かな専門性を基盤とした教育活動の展開と地域支援の推進
3. 全校で取り組むキャリア教育の推進
4. 学校組織の充実と労働安全衛生管理体制の充実

今枝様:教科書がどのくらい用いられているか、また使ってどうだったのかのところをまた考えていけたらと思う。★本のみに現れる学習内容がある。知的障がいの子どもたちの特性、特徴などに合わせて作られている。こうした教科書を用いてもどうだったかも検討していけたらと思う。昨年度から取り組んでいる防災について進捗を教えていただけたらと思う。

西邨様:学校経営計画について、安心・安全な体制づくりの保護者の肯定的な意見が高いことがわかった。安心感につながる取り組みについてまた教えてほしい。教育内容については、目標数値よりやや下がっており、がんばって取り組んでおられるが教員の多忙感があるのかな、と思った。教職員の働き方については中学校とも共通するところを感じた。学校をよりよくしようと取り組むと、働き方で超過勤務に出たりすることにつながったりする。今年度、実際の成果と課題でどのようであったかを今後教えてほしい。

稲村様:災害時の対策をいろいろと考えられていることがわかった。いざ災害が起こったときに、家から離れた環境でうちの子は大丈夫かな、など心配する。災害時の訓練をより具体的に組み込まれようとしているところに興味をもった。火災の時の点検などもされているかと思う。もしもの時に備えて子どもたちが安全に過ごせるようにこれからもお願いしたい。

西埜様:防災の大切さを感じた。子どもたち一人ひとりに応じた教育の実践となっているが、地域の小学校から本校の中学部、高等部とすすみ、小学校時より学力が下がった。中学部に入ったときに、どれくらいの能力をもっているかを把握し、それを継続してあげるのが大事ではと思う。

相澤様:アレルギーの対応について、年々園の利用者もアレルギーの方が増えている。アセスメント票が以前より細かくなってきたように思う。てんかん発作がある生徒さんのかかりつけ医の情報などもあれば、と思うのでご検討いただきたい。

芦田様:校務支援システムはどのようなシステムになるのか。学校内だけなのか。教科書を使って、どのような成長があったのか、成長との関連性を知りたいと思う。訓練や取り組みを継続していただきたい。働き方改革について、先生方の健康を守る取り組みがあれば、と思う。

油田首席:新校務支援システムは昨年から大阪府立全校で統一されたものとして始まっている。名簿を基にして、自動的にそれぞれのシステムに反映される。順次、新校務支援システムに移行している。小学部の教科書などは絵本などが採択されている。字が読めない子でも活用できるようになっている。学校の中で、教える内容はシラバスを用いても行っており、指導する先生によってばらつきがないようにしている。教科書を使用することで内容の統一にもなってくるかと思う。教科書の使用率や効果についても今後検証していきたいと思う。

三宅校長:いろいろとご意見ありがとうございます。A2アセスメントをすることで子どもの実態を客観的にとらえ共有化することができてきていると思う。自立活動についても積み上げがしやすくなっている。職業性ピラミッドに関しても、今どこの段階の取り組みをしているのかを客観的にみて積み上げていくことができる。先生方が普段の教育活動に取り入れることで成果があがっていくと考える。

次の会議日程

日時	令和8年 11月 予定
会場	図書室